

## 研究主題

課題を発見し、主体的に学ぶ児童生徒の育成  
～児童生徒の振り返りが次の学びにつながる授業を目指して～

今回は中学部と高等部で行われた学部授業研究会の協議（主に終末の部分）で出された成果を中心に紹介します。授業の様子はピクチャーサーバに、略案や年間指導計画はR5研究部>学部研究(中)または学部研究(高)に入っています。

前号で紹介した小学部の学部授業研究会も含め、今後の授業のヒントになるたくさんの「いいね」が詰まっています。時間のあるときに、見てください。

### 中学部2年生 生活単元学習「チャレンジ∞（エイト）横手博士になろう」

**本時の目標**・横手の特産品について調べてまとめる学習を通して、分かったことや気付いたことを発表する。

<授業者から>

本時は小単元のまとめ。横手各地域の特産品を掘り下げて調べてまとめた。生徒たちは、タブレット型端末のアプリを活用した学習を楽しんでおり、意欲的である。

<協議から>

- 前時のワークシートが生かされており、生徒が何をどうすればよいのかが分かって活動に意欲的だった。
- 完成した紹介カードをモニターに映して共有することで、生徒から「すごい」「お～」など発言があった。自然にお互いの頑張りを認め合ったり、新たな発見をしたりする姿が見られた。
- 振り返りを発表する前に個々に内容を確認することで自信をもって発表していた。



### 中学部3年生 生活単元学習「すてきな高等部生になるために」

**本時の目標**・高等部の先生へのインタビュー結果やこれまでの生活をもとに、すてきな高等部生になるために、頑張ることを考える。

<授業者から>

高等部職員にインタビューし、高等部について理解を深めていく単元。高等部の先生とやり取りして交流することもねらっている。高等部生徒にもインタビューを行う。

<協議から>

- 学習態度から日々の学習の積み重ねが見られた。
- 発表の内容を板書活用して視覚化し、お互いの考えを共有していた。
- 卒業までに自分が取り組むべき課題を「いつ」「何を」「どのように」のキーワードで具体的にすることで、生徒が明日から頑張ること、教師が指導すべきことが明確にまとめられた。
- 「かまくらカード」を使った振り返りが定着していた。



## 高等部1年生 家庭科「家庭生活と環境～私たちのリサイクル～」

**本時の目標**・横手市やスーパーのリサイクル方法を知り、グループでリサイクル活動を行う。

<授業者から>

これまで資源ごみのリサイクルについて動画等を活用して学んできた。家庭から出る資源ごみをどのように分別したり、処理したりすればよいのかを実際の活動をとおして身に付けてほしいと考えた。今後、家庭にも呼びかけて実生活につなげていく。

<協議から>

- 活動前に分別の仕方を確認することで、見通しをもって、本時の活動（ごみの分別）に取り組んでいた。
- 振り返りシートにこれまで学習したことやこれから学ぶことが書かれてあり、生徒が振り返りをするときに活用していた。
- 振り返りでは「家でも分別していきたい」と、実生活に生かそうとする発言があった。



## 高等部3年生 家庭科「場面に合わせて衣服を選ぼう」

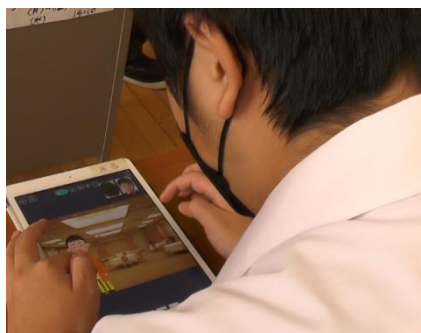
**本時の目標**・TPOにふさわしい服装が分かり、コーディネートを考えたり、選んだりする。

<授業者から>

昨年度と1学期にTPOや衣服の役割について学習をしてきている。卒業後に行われる「20歳を祝う会」を取り上げ、フォーマルな場面で着る衣服について考えたり、選んだりする学習を行った。今回初めてタブレット型端末のアプリを使って教材を準備した。

<協議から>

- 卒業を控えた生徒たちにとって、近い未来（20歳を祝う会）を取り上げているので、実際のイメージがしやすかった。
- タブレット型端末教材やプリント、実物と、生徒の実態に応じた教材があり、生徒は考えやすかった。
- 生徒の声を拾ってポイントをまとめることで本時の振り返りにつながっていた。



研究部報No.3・No.4・No.5では全校授業研究会、No.6・No.7では学部授業研究会について簡単に紹介しました。現在作成している令和5年度研究紀要「第44集」には、各学部の取組や授業研究会の内容、全校研究の成果と課題が詳しく載っていますので、じっくり読んでこれからの指導に活用してほしいと思います。